

## 第13回 信州登山案内人試験【共通問題】

各設問の解答を、解答用紙に記入すること。

(信州登山案内人条例、長野県登山安全条例)

問1 長野県登山安全条例において「信州登山案内人等の登山ガイドの役割」とされているものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 登山道の整備
- (イ) 登山者に対する山の魅力の伝達
- (ウ) 登山者の安全確保
- (エ) 山岳環境の保全

問2 登山を安全に楽しむためのガイドラインにおける記述について間違っているものを2つ選び、記号を書きなさい。

- (ア) 対面者に登山道を譲る場合は、対面して谷側で待機すること。
- (イ) 過去の登山経験を過信せず、「今の自分」に合った山とコースを選ぶこと。
- (ウ) 単独登山は、パーティーによる登山に比べ、死亡または行方不明に至る危険性が低いという認識を持つこと。
- (エ) 下山時には時間・体力に十分な余裕を残し、小さな歩幅で歩き、駆け下りないこと。

問3 長野県登山安全条例上、山岳（指定登山道）を登山するときに、遵守しなければならないことを2つ選びなさい。

- (ア) 遭難したときの捜索又は救助の費用に対する保険金が支払われる山岳保険に、必ず加入すること。
- (イ) 山岳の特性を知り周到な準備をすることが山岳遭難の未然防止につながることを認識し、あらかじめ、登山計画を作成すること。
- (ウ) 季節及び気象状況に応じた服装を用い、必要最低限の装備品を携行すること。
- (エ) 登山前に長野県知事あてに、登山計画書を届け出ること。

問4 信州登山案内人条例上、信州登山案内人の努力義務とされているものを2つ選びなさい。

- (ア) 体調管理の徹底
- (イ) 知識、技能の水準の維持向上に努めること
- (ウ) 登山の魅力を伝えるための歴史的若しくは文化的な事象の説明
- (エ) 信州登山案内人の周知

問5 信州登山案内人条例に関する次の記述について、あてはまるものを選択肢から選び記入しなさい。

1. 信州登山案内人は、登山を行うものの来訪及び ① を促進し、本県の観光の振興に寄与することを目的とする。

- (ア) 安全登山
- (イ) 観光
- (ウ) 滞在
- (エ) 宿泊

2. 信州登山案内人の更新の登録を受けようとする者は、有効期限の満了の日までに  が指定する研修を受けなければならない。

(ア) 観光スポーツ部長 (イ) 市町村長 (ウ) 環境大臣 (エ) 知事

(自然公園)

問6 自然公園について、文中①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

1. 自然公園法は、優れた自然の風景地を保護するとともに、その  ことにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的としている。  
(ア) 山岳文化を伝承する (イ) 希少動植物を保護する (ウ) 国土保全機能を向上する  
(エ) 利用の増進を図る
2. 自然公園の特別地域(特別保護地区を除く)で、環境大臣又は都道府県知事の許可が必要な行為は、  
 と  である。  
(ア) 木竹を伐採すること (イ) 木竹を損傷すること (ウ) 木竹を植栽すること  
(エ) 土地を開墾しその他土地の形状を変更すること
3. 長野県内の自然公園は、国立公園が5地域、国定公園が4地域、県立自然公園が  地域である。  
(ア) 4 (イ) 5 (ウ) 6 (エ) 7
4. 長野県にある国立公園は、妙高戸隠連山、秩父多摩甲斐、中部山岳、上信越高原、 の5地域である。  
(ア) 北アルプス (イ) 中央アルプス (ウ) 南アルプス (エ) 長野アルプス
5. 長野県版レッドリスト(2015年)において、絶滅危惧IB類に分類されているライチョウの生息状況を把握し、今後の保護対策のための基礎データとするため、スマートフォンを用いて登山者等から目撃情報を収集するアプリ「ライポス」を開発したが、この「ライポス」はかつての  の役割をバトンタッチしている。  
(ア) ライチョウポスト (イ) ライチョウスナップ  
(ウ) ライチョウスポット (エ) ライチョウマップ
6. 中部北陸自然歩道は、中部北陸地域のすぐれた風景地を歩くことにより、沿線の豊かな自然環境や自然景観、さらには歴史や文化に触れ、親しむためのみちで、中部北陸地域の8県(群馬県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、滋賀県)を結んで整備された長距離自然歩道で、長野県内には  コースあり、総延長は約666kmである。  
(ア) 24 (イ) 34 (ウ) 44 (エ) 54
7. 狩猟が認められないなどの規制がある、環境大臣が指定する国指定鳥獣保護区は、県内に  鳥獣保護区と  鳥獣保護区がある。  
(ア) 南アルプス (イ) 浅間 (ウ) 北アルプス (エ) 中央アルプス
8. 御岳県立公園において、2014年(平成26年)9月の噴火災害を契機に「いのちを守る」 「自然とふれあう」ことを主な目的とし、人と自然をつなぐ拠点となるよう御嶽山ビジターセンターが建設された。  
(ア) 地震を学ぶ (イ) 火山を学ぶ (ウ) 森林を学ぶ (エ) 水源を学ぶ

(読図)

問7 次の地図記号は、それぞれ何を表しているか記入しなさい。

①	②	③	④
			

問8 次の文中の①～⑥にあてはまる用語を記入しなさい。

地形図には、3つのことが記載されている。「地名など」と「地図記号」と「」である。この①の形やその間隔を見ることで、地形もわかってくる。

① が輪になってとじている場所がである。

① が、②から山麓に凸状に向かっているのが、一方、山麓や川などから②に向かって凸状に向かっているのがである。

また、②と②を結んだ稜線上にある低い場所のことを、鞍部またはと呼ぶ。この⑤と地形的に似ているのがである。⑤は稜線上にあり、⑥は山麓から登り詰め反対側に下りる道の部分のことを指す。

(植物、植生)

問9 次の文中①～⑤にあてはまる用語を記入しなさい。

1. 山に登り標高が高くなると徐々に気温が低下し、それに伴って植物の種類や群落が変化する。

植物のまとまりである植生の垂直な分布帯をといい、下方から低山帯(丘陵帯)、、亜高山帯、高山帯などに分けられる。

2. 長野県では標高2,500m前後にがあり、それより上部の植生帯を高山帯という。

高山帯には、背が低く匍匐するように枝を広げるマツ科の常緑針葉低木であるの優占する群落が広がる。

3. 高山帯に主に分布する植物を総称して高山植物というが、長野県の高山植物には、氷期に北方から南下して、その後の温暖期に高山に生き残った遺存種で、世界的なとなっているものも多い。

問10 次の文中①～⑥にあてはまるものを選択肢から選び、記号を記入しなさい。

1. 長野県では県内の希少な野生動植物の保護対策を推進するため、長野県希少野生動植物保護条例で指定希少野生動植物を指定している。高山植物のうち、木曾山脈(中央アルプス)のみに分布し長野県固有種であるや、本州では飛騨山脈と八ヶ岳のみに分布するキンポウゲ科のが指定されている。

2. 長野県では、近年、が高山帯・亜高山帯に進出するようになり、嗜好性が高く橙色の花をつけるなどの高山植物が採食される一方、マルバダケブキやバイケイソウなど忌避する植物が繁茂する様子もみられる。

3. 登山者の登山靴などに付着して、本来生育していなかったセイヨウタンポポなどの $\boxed{\text{⑤}}$ が高山に侵入することを防ぐため、登山口では種子除去マット等で靴底の土を落とす対策がとられている。

選択肢

- (ア) ウルップソウ (イ) コマクサ (ウ) カモシカ (エ) 在来種  
(オ) コマウスユキソウ (ヒメウスユキソウ) (カ) 山菜 (キ) トウヤクリンドウ  
(ク) ニホンノウサギ (ケ) ミネウスユキソウ (コ) ツクモグサ (サ) テン  
(シ) ニホンジカ (ス) ニッコウキスゲ (セ) 外来種 (ソ) ハクサンフウロ

(動物(鳥類、昆虫類含む))

問 11 次の文中①～⑩にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

(同一の番号には、同じ解答(記号)が入ります。)

1. 2023年に長野県で多く出没し人身被害もあった $\boxed{\text{①}}$ は、 $\boxed{\text{②}}$ 中心の雑食性である。  
 $\boxed{\text{①}}$ は高山帯もよく利用するが、山小屋やテント場等での食料品や人身被害の発生を防ぐため、 $\boxed{\text{③}}$ や食べ物の徹底管理が重要である。
2. ニホンジカは現在長野県内で分布を拡大しているが、ニホンジカと同じく大型草食哺乳類の $\boxed{\text{④}}$ は、なわばりをつくって守るため、ある場所での生息数があまり変動しないのに対し、ニホンジカはなわばりをつくらず、 $\boxed{\text{⑤}}$ をつくって個体数を増やししながら生息域を広げる違いがある。
3. 中部山岳域の高山帯には、高山植物と同様に、氷期に大陸から移入して高山に生き残った動物が生息する。このうち $\boxed{\text{⑥}}$ は、冬に羽根が白く、雪解けとともに夏羽に生え変わることで知られる。 $\boxed{\text{⑥}}$ を襲う天敵は、テン、 $\boxed{\text{⑦}}$ などである。
4. 高山蝶とよばれるチョウのうち、北アルプスと八ヶ岳にのみ分布する $\boxed{\text{⑧}}$ が、卵から成虫まですべて高山帯で過ごす「真の高山蝶」とされ、 $\boxed{\text{⑨}}$ などは亜高山帯などでも見られることがある。
5. 長野県の飛騨山脈(北アルプス)や上信越高原の湖沼では、 $\boxed{\text{⑩}}$ が水中に白い卵塊(卵のう)を産卵する。

選択肢

- (ア) クロサンショウウオ (イ) タヌキ(ホンダタヌキ) (ウ) キツネ(ホンダギツネ)  
(エ) モンキチョウ (オ) 植物食 (カ) ライチョウ(ニホンライチョウ) (キ) ヒグマ  
(ク) ヤマネ (ケ) オオルリシジミ (コ) つがい (サ) ミヤマシロチョウ (シ) 生ごみ  
(ス) 騒音 (セ) 群れ (ソ) 動物食 (タ) ホシガラス (チ) モリアオガエル  
(ツ) カモシカ(ニホンカモシカ) (テ) ツキノワグマ (ト) タカネヒカゲ

(気象、天気図)

問 12 次の文中①～④にあてはまるものを選択肢から選び、記号を書きなさい。

- 集中豪雨が発生しやすい天気図型は日本付近に前線が東西にのび、南に $\boxed{\text{①}}$ 高気圧がある。高気圧の縁辺から $\boxed{\text{②}}$ 気流が入り、特に南方海上に台風や熱帯低気圧があると危険である。山岳地帯に $\boxed{\text{③}}$ 雲が次々に入ってくると強制的に上昇させられ、狭い地域に集中的に雨を降らせる。短期間の強雨、落雷、突風があり、がけ崩れや土石流などの恐れがあるので、山には絶対に

近づいてはならない。なお、の年は集中豪雨が起こりやすい。

選択肢

- (ア) オホーツク海      (イ) 乱層      (ウ) 寒冷      (エ) 太平洋      (オ) 上昇  
(カ) エルニーニョ      (キ) シベリア      (ク) 下降      (ケ) ラニーニャ      (コ) 積乱  
(サ) 偏西風が強い      (シ) 暖湿      (ス) 移動性      (セ) 層積      (ソ) 偏西風が弱い

問 13 次の説明文にあてはまる気象現象等の名称を記入しなさい。

1. 強い風（平均風速 10～15 メートル程度以上の風）を伴った降雪。

2. 早春に現れ日本の南海上に前線が停滞する長雨。

3. 積雲や積乱雲から生じる冷やされて重くなった強い下降気流。

問 14 次の天気記号は、それぞれ何を表しているか記入しなさい。

①	②	③
		

(ガイド、登山の常識)

問 15 次の文中①～②にあてはまる用語を記入しなさい。

長野県内及び周辺には多数の活火山が位置しており、本県は国内でも屈指の火山県である。気象庁において、地震計・傾斜計・空振計・GNSS・監視カメラ等の観測機器を設置し、関係機関の協力も得て、24 時間体制で火山活動を観測・監視している火山をという。長野県内には指定登山道のある4つのがあるが、では火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しており、山頂火口から概ね 2 km への立入りが禁止されている。

問 16 長野県山岳遭難防止対策協会が定める山岳ヘルメット着用奨励山域に含まない山域を、次の中からすべて選びなさい。

- (ア) 木曾駒ヶ岳（無雪期）      (イ) 甲斐駒ヶ岳（無雪期）      (ウ) 奥穂高岳（無雪期）  
(エ) 乗鞍岳（無雪期）      (オ) 蓼科山（積雪期）

問 17 山岳遭難に関する次の文章のうち、それぞれ正しいものには○、誤ったものには×を付けて答えなさい。

①長野県内における遭難は、コロナにおける行動制限が緩和された令和 4 年に遭難 302 件、遭難者 332 名を記録し、過去最多を記録した。

②原則として県警察や長野県から委託を受けた民間航空会社のヘリコプターが出動し山岳での救助活動を行うが、耐空検査等により飛行できる機体がない場合は、あらかじめ協定を締結した近隣県に出動を要請している。

③コロナ禍におけるアウトドアブームの影響により新たに登山を始める人が増加したことから、長

野県内における令和5年の山岳遭難の年齢別の統計では、20～30歳代の若者の遭難者数が最多となっている。

問18 次の文中のうち、信州登山案内人の職能範囲に含まれないものをすべて選びなさい。

- (ア) 登山等の案内に際し、本県における登山等の魅力の増進に資する良質なサービスの提供に努めるガイド行為
- (イ) 難路（破線ルート等）を含む整備されたすべての登山道におけるガイド行為（冬山を除く）
- (ウ) ハイキングの延長にあるスノーシュートレッキングのガイド行為
- (エ) アイゼンやピッケルなど登攀具を使った冬季登山のガイド行為

問19 ガイドの法的責任に関する次の文章のうち、正しい内容のものには○、誤った内容のものには×を付けなさい。

- (ア) 個人の集まりである友人同士や山岳会の登山で事故が起きても、原則として損害賠償責任や刑事責任が生じることはないが、例外的にガイドのような安全確保義務が生じることもある。
- (イ) 登山は原則として自己責任であるから、ガイド登山を行う際は参加者に「事故が起きても一切責任を問わない」などの免責同意書に署名してもらう必要がある。
- (ウ) ガイドには事故を予見可能な場合には事故を防ぎ、顧客の安全を確保する義務がある。

(セルフレスキュー)

問20 登山時における病気やけが、安全に関連して、次の文中の①～⑩にあてはまる用語を記入しなさい。

1. 捻挫は全身の関節のどの部分にも生じる可能性があるが、登山で多く見られる部分は、足関節である。この捻挫や骨折とも現場での応急処置は、受傷後にできるだけ速やかにRICE処置を行うことが推奨されている。このRICE処置のうち、「C」の意味は①、Eの意味は②を表している。※漢字2文字になる言葉で答えること。
2. 熱中症はその症状に合わせて、分類される。そのうち、熱射病と熱疲労では③の方が重症度が高い。症状の悪化を予防することが重要である。
3. ④の症状を点数化して早期に発見・対応するための指標の一つにレイクルーズスコア (LLS) がある。これは、⑤、胃腸症状、疲労・脱力、めまい・ふらつきという4種類の症状を合計12点でスコア化するものである。
4. 低体温症とは、深部体温の意図しない⑥℃以下への低下と定義される。処置としては、更なる熱喪失を防ぐために、傷病者の寒さからの隔離、⑦、加温を施すことである。
5. 人が反応せず、正常に呼吸をしている場合は、横向きの⑧と呼ばれる体位をとると良い。舌根が喉を閉塞させたり、嘔吐時に窒息したりすることを防ぐ体位である。
6. ハチ毒に対してアレルギーがあると、⑨症状を引き起こすといわれている。この症状を引き起こすと、命に危険が及ぶ確率が高くなる。
7. 救助要請をして、ヘリコプターが遭難現場に接近した際は、⑩と呼ばれるヘリコプターが吹き下ろす風に常に注意して、救助隊員の指示に従うこと。